

# すずがも通信

2018

10月

2018年10月14日発行

ISSN 2185 632X



「エゾビタキ」撮影：山口 誠

## ＜お知らせ＞

いよいよ観察舎解体工事が11月から始まります（来年3月下旬まで）。

期間中は駐車場から観察舎まで完全に閉鎖され、通行できません。白鷺公園からの出入りもできません。観察舎駐車場は利用できなくなりますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。観察舎など保護区の出入りは緑の国入り口から導流提経由となります。野鳥病院や管理事務所へは塩浜橋側から福栄スポーツ広場（江戸川第2下水処理場）をぐるっと迂回してアクセスする形となります。今まで以上にご不便をおかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。

# ☆最近の保護区作業～保護区生まれのサギたちは今～☆

今回は作業というより保護区でやっている調査のお話です。

保護区外周の緑地帯ではカワウが多数繁殖していますが、ここ数年それに混じってアオサギとダイサギも少数ですが繁殖するようになりました。そこで、保護区で生まれたサギがどのように動いているのかなどを調べるため、許可を得て標識調査を行っています。

標識調査では巣内にいるヒナを捕まえ、環境省の標識足輪と、カラーマークと呼ばれる大き目の文字が刻印された色付きのリングを付けて巣に戻していきます。今年保護区では5～6月にかけてダイサギ・アオサギのヒナ30羽に、白地に黒文字で「00G」～「29G」のカラーマークを付けました。その後7～8月には無事巣立った標識付のサギたちが保護区内の湿地で観察されています。9月に入ると見られることが少なくなってきましたが、谷津干潟や東京からの観察情報を頂いており、保護区から離れているようです。ダイサギ・アオサギともにちょっとした川や池など、身近な水辺で見られたりしますので皆さんの住んでいる近くに現れるかもしれません。もし見かけましたらぜひ情報をお寄せください。そして来年、このサギたちが無事また保護区に戻ってくることを願って・・・。

(山口 誠)



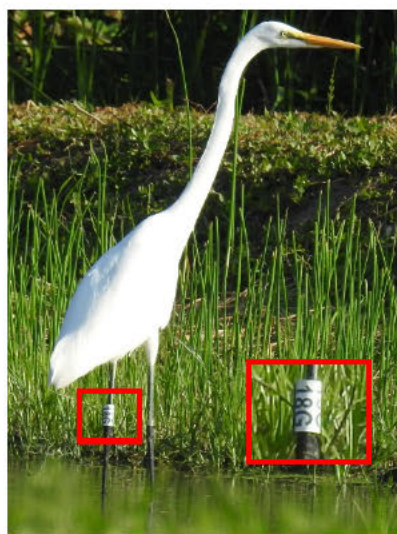
↑保護区緑地の一角にできたダイサギとアオサギの営巣場所

↓標識調査の様子

記録を取りながら標識を付けていきます



↑標識を付けられたダイサギ右の白「18G」の個体に注目  
(6月8日)



↑無事巣立って保護区内で見られた  
ダイサギ白「18G」(7月20日)



# 昆虫観察会

8月4日(土)

参加者は2歳から11歳の子どもたち10名と保護者の方たち11名。スタッフ8名でした。

コースは町田池先のヤナギ2か所にまず行き、樹液に集まる昆虫たちを観察した後、浄化池の周りで各自虫を捕まえるというものでした。



ヤナギ周りは雨が少なかったせいか

ヤナギが元気ではないのか、あまり樹液が出ておらず虫も少なめでした。多いときだとカナブンやシロテンハナムグリ、タテハチョウの仲間にスズメバチまで集まってくるのに、ちょっと寂しかったですが、ハチがいなくてよかったかな。

余談ですが、ハチは手で払ったり騒いだりすると、攻撃されたと思い襲ってくるがあるので、遭遇したらなるべく静かにそ〜っと遠ざかりましょう。だいたいはじっとしていればハチの方から離れてくれます。

浄化池では目の届く範囲で、保護者はお子さんから眼を離さないということで、あまり時間はありませんでしたが自由行動にしました。家族ごとに散らばってバッタやトンボを捕まえて楽しみました。普通のトンボはなかなか捕まらなかったけれど、小さいイトトンボは多くの方が観察できたようです。バッタ類は、大きなショウリョウバッタのメスやまだ小さいオンブバッタ、コバネイナゴなど、みんなの虫かごに盛りだくさんでした。

最年長11歳のお兄ちゃんが大活躍で、弟くんとともにコクワガタを見つけてくれたり、なんと行徳初記録のマメハンミョウまで見つけてくれました。(昆虫班 K)

## マメハンミョウのうんちく

マメハンミョウの成虫は、マメ科やナス科他いろいろな植物の葉や花を食べ、幼虫はバッタの卵を食べるというヘンな虫。体液にカンタリジンという毒を持ち鳥も食べない。

ハンミョウとついているが、あのきれいなハンミョウや保護区にもいるトウキョウヒメハンミョウ(オサムシ科)などとは違う科(ツチハンミョウ科)。行徳初記録!





# 夜の生き物観察会

8月18日(土)



今年で早5年目を迎えた、夜の保護区で生き物を観察するイベント。今年の参加者は39名。夜の保護区は昼間とは全く違う世界になる。保護区は電灯もないため真っ暗だ。スズメバチの仲間も夜でも活動しているので、うっかり触ってしまうとそれこそ痛い目に遭う。ナメテかかると危ない世界なのだ。

そんな中保護区を歩いていくと、いきなり堤防にヤモリ。ヤモリってこんなところにも居るのねって思っていたら、ボランティアの三木さんが捕獲。ちびっこ参加者、みな大喜び！そのうちの一人が小枝に止まらせて持ち歩いていた。全然逃げない、なぜだ・・・。

道中～浄化池のライトトラップには寝ているギンヤンマやジョロウグモの巣、いろいろな種類の蛾やクロコガネ、アオドウガネといった甲虫類が見られた。虫に詳しいスタッフのみなさんが的確に解説してくださり、参加者のみなさんも勉強になったと思う。

でもやっぱり鳥に反応してしまう。池の方からチョチョチョー、盛んにアオアシシギが鳴いている。時々、セイタカシギやタカブシギの声も聞こえてくる。

保護区は夜の方が賑わっているのだ、と感じざるを得ない。やっぱり夜の保護区はわくわく、ドキドキ、キラキラ、素敵です。  
(T-さとう)

## <参加者の皆さんの感想>

- ・自分の子どもが、普段虫など触ったところを見たことがないのに、平気で触っていてびっくりした。
- ・蛾にもあんなにちゃんとした名前がついているんですね・・・。
- ・スタッフの方がとても詳しく説明してくれてよかった。
- ・ヤモリとの別れが名残惜しかった女の子の親御さんは「意外でしたね～」と。
- ・蛾が指に止まってずっと離れなかった子のお母さんは、しきりにすごいすごいと連発され、蛾が止まっても平気なんだ、と驚いていた。



セミ羽化観察会 8月11日(土)(参加者77名)

今年は6月末には鳴き始めたセミ。例年より多かったものの、7月にピークを迎え8月にはさっぱり。当日は大人数の参加者の目もあり幼虫の姿は見つかるものの羽化までが長い……。なんとか終了間際に羽化している個体が見つかりホッと胸を撫でおろしたスタッフでした。

フィールドミュージアム「カニカニ大行進」 8月12日(日)(参加者27名)

参加者27名。

保護区や東京湾岸でカニの調査をしていた柚原剛さん(東北大)を講師にカニの観察会。ベンケイガニの仲間を中心に11種+1種(脱皮殻)を確認しました。

江戸前干潟研究学校 8月19日(日)、9月16日(日)

8月は百合ヶ浜の大網でコノシロが1400匹ほど。

9月は全体的に個体数・種数は少なかったものの保護区では珍しくガザミが15体も採集されました。切手サイズでしたがアミメハギ1尾が初記録。大きめのスズキも採集。一度干上がりかけた旧淡水池は再びカダヤシだらけの池に戻ってしまいました。去年は干ばつ後にカダヤシが激減してモツゴが増加し、今年はモツゴが優先する池になっていたのですが……。



# 【イベント予定】

## ＊保護区写真展＊

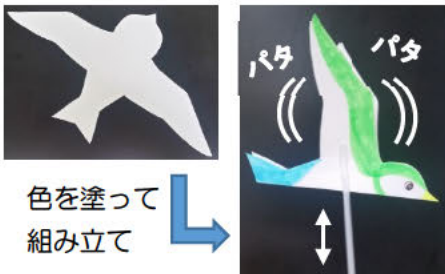
10月6日(土)～10月21日(日) 場所：市川動植物園エントランスホール  
浦安郷土博物館に続く写真展2回目。保護区の動植物写真や浦安で観察された野鳥の展示を行います。



第1回目 浦安郷土博物館での展示の様子


## ＊南行徳ホコ天＊

10月28日(日)11時～17時  
場所：南行徳駅南口の通りと  
南行徳メトロセンター街  
地元のお店の屋台や縁日、ゲームコーナー、ステージイベントなどが楽しめます。友の会は「パタパタ小鳥づくり」で出店予定。



色を塗って  
組み立て



 南行ホコ天

## ＊ジャパンバードフェスティバル2018＊

11月3日(土・祝)9時半～16時  
11月4日(日)9時半～15時  
場所：千葉県我孫子市手賀沼

「鳥を自然を愛する人たちが一堂に会する  
年に一度のお祭り(JBF ホームページより)」  
2001年から毎年行われている日本最大級の鳥のイベント。友の会は今年もマスコット色塗りや展示で出店予定。



JBF2018  
ホームページ

## 7・8月 保護区の鳥の様子 ~サギの楽園ふたたび?~

2018年7月から8月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヵ月で39種を記録しました。

この時期は、巣立ったカワウ、アオサギ、ダイサギ、ハシブトガラス、シジュウカラ、スズメ、ムクドリなどの若鳥がたくさん見られます。周辺緑地のカワウコロニーでは、昨年の12月に始まったカワウの営巣、ピーク時には1200巣以上ありましたが、8月初旬に終わりました。カワウコロニー内では、アオサギ、ダイサギも繁殖しており、アオサギ25巣ほど、またダイサギは10巣以上と、これらのサギの繁殖規模が年々大きくなっています。婚姻色のコサギも数羽見られており、今後保護区で繁殖するようになるかもしれません。

8月半ばを過ぎるとソリハシシギ、キアシシギなどの旅鳥が見られました。8/25台風20号の翌日、珍鳥グンカンドリが現れました。

### 水鳥類

カルガモ	コサギ
ハシビロガモ	バン
オナガガモ	コチドリ
カイツブリ	セイタカシギ
グンカンドリ属 sp.	キアシシギ
カワウ	ソリハシシギ
アオサギ	イソシギ
ダイサギ	ウミネコ
チュウサギ	

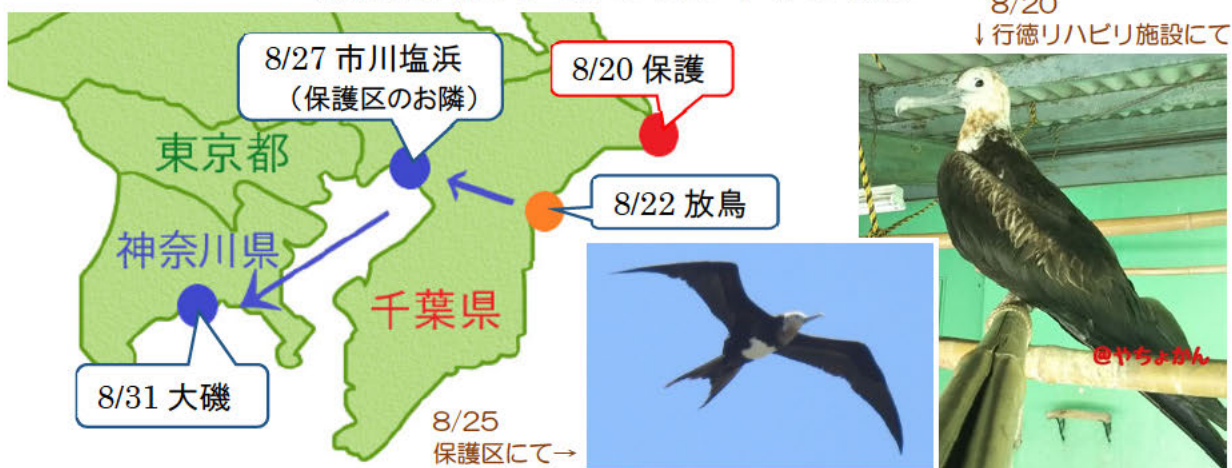
### その他小鳥など

キジバト	メジロ
カワセミ	オオヨシキリ
コゲラ	セッカ
オナガ	ムクドリ
ハシボソガラス	コムクドリ
ハシブトガラス	スズメ
シジュウカラ	ハクセキレイ
ツバメ	カワラヒワ
ヒヨドリ	ドバト
エナガ	

### 猛禽類

トビ  
オオタカ  
チョウゲンボウ

### 保護されたオオグンカンドリの行方



8/20 に保護されたオオグンカンドリは九十九里町で放鳥し、保護区付近まで戻り、そして神奈川県の大磯で目撃されました。彼らにとって、この距離はひとつとびなんでしょうね。無事に南国まで帰れますように！

左翼の根本付近に一部白い羽が生えている特徴や頭の羽色などから同一個体であると判断しました。(8/27の目撃では標識をつけているのを確認(番号不明))

